

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|---------------------------|------------------------------|---|-----------------------------|---|
| 家計 動向 関連 | 良く なっている やや良く なっている | コンビニ（経営者） | 販売量の動き | ・客単価は前年同月と変わらないが、来客数、売上共に同1割増加した。 |
| | | 百貨店（売場主任） | 販売量の動き | ・まとめ買いをする客が増加している。 ・クールビズなど社会の取り組みに客が反応し始めている。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・今月は新たに夏物特別販売会などに取り組んだ結果、夏のセール前に買物をする客が例年より多く、月間の買上客数は前年比106%となった。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・話題のクールビズなどシャツ類の動きが顕著で、売上は前年の5割増しとなっている。半面、スーツなどは落ち込んでおり、ファッション全体では客の消費態度は硬い。 ・食品では客が産地や品質の安全性にこだわるなど、良品の売行きは好調である。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・梅雨入りが遅れ、夏らしい気候が続いたため、盛夏物に活発な動きがみられた。特にTシャツ、タンクトップ、カットソーなどの上物が好調であった。また、店頭では夏のリゾートや行楽などの訴求を展開したため、ワンピースやドレスシャツなどの需要が目立った。婦人服全般では前年比で103%となり、個人消費に少し明るい兆しがみえてきた。 |
| | | コンビニ（経営者） | 単価の動き | ・6月は来客数がやや減少気味であるが、天候にも恵まれたためレジャー関連の売上が多かった。 |
| | | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・気温が高かったため、弁当の売上が若干落ち、全体の売上は伸び悩んでいるが、来客数は好調に推移している。 |
| | | 乗用車販売店（経理担当） | 販売量の動き | ・新型車の発売やモデルチェンジがなくても、車の販売受注台数は堅調に推移している。 |
| | | その他専門店 〔医薬品〕（営業担当） | 来客数の動き | ・前年同月比の来客数は103.3%で、3か月前の伸び率より増加している。 |
| | 都市型ホテル（スタッフ） | 販売量の動き | ・来客数に改善傾向がみられる。 | |
| | 変わらない | 百貨店（営業担当） | お客様の様子 | ・来客数は増えたものの、ミセス商材の動きは好転していない。ヤング商材については前倒しセールへの反応がある。 |
| | | スーパー（店長） | 単価の動き | ・昨年の売場改装後、単価は順調に前年実績をクリアし、3か月前と同じ上昇率で推移している。 |
| | | スーパー（総務担当） | 来客数の動き | ・6月後半は気温の上昇により、衣料品は売れているが、その他はあまり変化がない。クールビズなど紳士物の一部に動きがみられたが、売上全体としては厳しさが増している。 |
| | | スーパー（営業担当） | 販売量の動き | ・販売単価は前年並みであるが、買上点数は前年の水準を維持するのが精一杯である。 |
| | | スーパー（副店長） | 単価の動き | ・梅雨入りの遅れ、真夏日の連続で夏物衣料は好調であるが、住関連商品や食品は依然として買い控え傾向にある。 |
| | | コンビニ（経営者） | 販売量の動き | ・来客数は増加傾向であるが、客単価は下降気味で、トータルでは変わらない。 |
| | | 家電量販店（経営者） | 販売量の動き | ・例年7月に行うDMセールを前倒しで6月に行ったが、昨年ほどの集客力はなかった。6月20日以降は暑い日が続き、エアコンの売上が一気に伸びてきた。 |
| | | 家電量販店（店長） | 単価の動き | ・来客数は増加しているが、客単価が低下している。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | 単価の動き | ・高級輸入車の一部と低価格車が中心であった売行きが人気モデルだけになり、その他の車種は値引きを増やすなどで何とかしのいでいる。 |
| 自動車備品販売店（従業員） | | 来客数の動き | ・目的買いの来店は多いが、全体の来客数は伸びていない。 | |
| その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者） | 単価の動き | ・原油が高騰し、元請業者は価格を上げてくるが、販売競争が激しいため、小売では客に対してその分を完全に転嫁できない。 | | |

| | | | | |
|-----------|--------------------|----------------|---|---|
| | その他専門店 〔酒〕（経営者） | 来客数の動き | ・今月の売上は依然として鍋底状態である。他店にない高級食品や値段の高い酒はよく売れるが、それ以外の酒、ビール、食品は全く低調である。 | |
| | 高級レストラン （スタッフ） | 販売量の動き | ・学会や株主総会後の高単価の宴席受注が好調で、また昨年に続き雨が少ないため、飲料の売上も良い。 | |
| | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・団体の予約が数回入ったため、業況は例年と変わらない。客の建築業者からは「体力のあるうちに廃業する」という話も聞かれ、現状は厳しい。 | |
| | 都市型ホテル （スタッフ） | 来客数の動き | ・宿泊部門、レストランの通常営業、一般宴会は前年同月を上回っているが、婚礼宴会の実施件数の減少が影響し、全体の売上は前年並みとなる。 | |
| | タクシー運転手 | 競争相手の様子 | ・客が目立って増える状況にないが、他社ではタクシーの増車を続けており、客の奪い合いが更に激しくなっている。 | |
| | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・同業者の増加や明るいヘアカラーの人気低下などから、売上は厳しい。 | |
| | 住宅販売会社 （従業員） | 販売量の動き | ・土地、中古住宅、リフォームなどの需要は前年よりかなり高まっている。半面、新築住宅の動きはやや低調であるが、総合的にみると客の住宅への関心度は高い。 | |
| | 住宅販売会社 （従業員） | 単価の動き | ・付加価値商品売り出したため、販売単価は前年を上回ったが、販売量の伸びは前年並みである。 | |
| やや悪くなっている | 一般小売店〔書籍〕 （店長） | 販売量の動き | ・ベストセラーも少なく、販売量も落ちている。 | |
| | スーパー（店長） | 単価の動き | ・この2、3か月間は、特売の嵐が吹いている。各社とも目玉商品を続々投入し、価格が下がっている。現状はこの目玉商品しか動いていない。客単価の低下に加え、各店の乱立による来客数の伸び悩みから収益は前年より相当悪化している。 | |
| | 住宅販売会社 （従業員） | 競争相手の様子 | ・相見積が増え、また単価の引下げ要求が大きいため、成約まで手数がかかるようになってきた。 ・増改築工事は増加傾向にあるが、一方で新築物件の引き合いが減少している。 | |
| 悪くなっている | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・愛知万博の影響で、東海、関東方面からの客数が激減しており、観光関連業者の売上が減っている。また、客の財布のひもが一段と固くなり、今まで比較的好調だった飲食関係も最近では客足が遠のいている。 | |
| | テーマパーク （職員） | 来客数の動き | ・愛知万博など他地域の大型イベントや好調な海外旅行の影響で、団体、個人、グループとも利用が低調で、前年同月比で2けた近い減少となっている。 | |
| | パチンコ店（店員） | 来客数の動き | ・3日に1回の来店客が1週間に1回という頻度になっている。 | |
| 企業動向関連 | 良くなっている | - | - | |
| | やや良くなっている | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・依然として婦人衣料関係は悪いが、企画開発商品に好調な動きがみられる。 |
| | | 一般機械器具製造業（経営者） | それ以外 | ・大型連休後も引き続き引き合いが活発に来ており、中小企業の設備投資の意欲は衰えていない。 |
| | 変わらない | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・客の在庫管理が厳しくなり、受注確保が難しい状況が続いている。また、ますます期近の商売が増えている。 |
| | | 精密機械器具製造業（経営者） | 競争相手の様子 | ・眼鏡産地のメーカーの状況は更に二極化が進んでいる。全体として好転しているとは思えない。 |
| | | 建設業（総務担当） | 競争相手の様子 | ・建築工事の見積件数は増加傾向にあるが、破格の見積入札の業者もあり、決定価格は依然厳しい状況が続いている。 |
| | | 通信業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・携帯電話市場自体が頭打ちに近づいており、販売量に大きな変化はみられない。 |
| | | 金融業（融資担当） | 取引先の様子 | ・製造業は引き続き受注が好調で、夏季賞与の支給額も前年を上回っている。 |
| | | 司法書士 | 取引先の様子 | ・取扱件数は減っていないが、会社では解散が多く、また勝訴判決を得ても差し押さえる財産がないような案件が多くなっている。 |
| | やや悪くなっている | 輸送業（配車担当） | 取引先の様子 | ・小口の物量は前年同月比で約1割減少している。 |
| 不動産業（経営者） | | 受注量や販売量の動き | ・当社も同業者も不動産の動きが悪い。 | |

| | | | | |
|----------------|---------------|----------------|---|--|
| | 悪く なっている | 建設業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・当社の月次決算では、工事原価率が前年同期に比べ悪化し、大幅な赤字となった。不採算工事の増加が一番の原因であり、発注単価の切下げの影響が大きい。 |
| 雇用 関連 | 良く なっている | - | - | - |
| | やや良く なっている | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 求人数の動き | ・3月から前年比横ばいだった求人数が今月は10%も伸びた。 |
| | | 民間職業紹介機関（経営者） | 雇用形態の様子 | ・派遣先で正社員が採用されたため、登録スタッフの登録取下げが若干増加している。求人広告でも正社員募集が増えている。 |
| | 変わらない | 人材派遣会社（社員） | 雇用形態の様子 | ・派遣先では正社員を採用する動きがみられない。 |
| | | 人材派遣会社（社員） | 求人数の動き | ・求人数は依然として堅調で、紹介予定派遣の打診も散見される。 |
| 求人情報誌製作会社（編集者） | | 雇用形態の様子 | ・業務請負、派遣業の求人募集及びコールセンターの募集状況は以前と変わらない。飲食・サービス業のアルバイト・パート及び正社員の募集も増加してきているが、製造業の募集は少ない。業種により、求人のニーズに偏りがみられる。 | |
| | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・新規卒求人の動きが前年度を上回っているが、理由としては2007年対策が考えられる。一方、一般求人数は全体で前年同月比19.6%増加したが、製造業では同26.7%減少している。 | |
| | やや悪く なっている | - | - | - |
| | 悪く なっている | - | - | - |